

「ザ・広島ブランド」今年度の認定 8 品

市は、広島の特産品で特に優れたものを「ザ・広島ブランド」として認定し、広くPRしています。市民の皆さんから投票を募り、審議会の審査を経て、新たな認定品を決定しました。その 8 品を紹介します。
園商業振興課 (☎504-2318、☎504-2259)



四季折々の旬の食材や素材による食品 **味わいの一品** と、脈々と受け継がれた伝統の技や先進的な技術による工芸品 **匠の銘品** の 2 部門があり、現在118品を認定しています。
認定品や認定式など、詳しくは市ホームページをご覧ください。



■ 味わいの一品



(株)植本わさび本舗
《 大根わさび漬 》

吉和の清流で育てた良質なわさび
わさびの爽やかな風味と辛み、大根のコリコリとした歯応え、甘酢のほのかな甘味が調和した優しい味です



田中食品(株)
《 巻くふりかけ 》

おむすびやキャラ弁などに
鮭、赤しそ、広島菜の 3 種類の味。巻いたり挟んだり刻んだり、さまざまな料理に使えます



カルビー(株)
《 かつぱえびせん匠海シリーズ 》
誰かに贈りたくなるかつぱえびせん
瀬戸内海産の天然えびを丸ごと使い、1 枚ずつ丁寧に焼き上げています



(株)八天堂
《 クリーむパン 》
しっとり、とろける口どけ
冷やしてもやわらかい食感の生地クリームがたっぷり。手土産に最適なスイーツパンです

■ 匠の銘品



(株)イワタ木工
《 けん玉 MUGEN MUSOU 》
飾っても美しいけん玉
高精度の木工加工技術、美しく丈夫な塗装技術を使用し、使いやすさと見た目の美しさを追及しています



セーラー万年筆(株)
《 伝統漆芸 彩雅 》
「フェザータッチ」の書き心地
世界唯一の独自技術で作った「21金ペン先」を使用。熟練の職人の技により、軽く柔らかいタッチを実現しています



(株)西井製作所
《 どうちゅう 伊久馬 ビアカップ 》
上質な時間を共にするビアカップ
伝統技術と現代の技術が融合。内側の見えない凹凸加工がビールの泡をきめ細かくし、口当たりまろやかに



(株)マルニ木工
《 HIROSHIMAアームチェア 》
いつまでも使い続けたい木工椅子
人間工学の知見を踏まえ、ゆったりくつろげる座り心地と優美なフォルムが特徴です

貸し農園で野菜作りをしてみませんか

市内には、利用者のニーズに応じて選べる貸し農園があり、来年度の利用者を募集しています。自分で育てた野菜の味は格別です。
園農林水産振興センター (☎845-4347、☎845-4350)

大区画でしっかり農作業をしたい人は

市民農園

- 駐車場や給水施設、トイレなどの設備が充実。見張・三田農園は耕運機や農具の貸し出しあり
- 講習会や収穫祭などのイベントがあり、他の利用者と交流できる
- 見張・三田農園はバーベキューも可能



栽培方法の指導を受けたい人は

市民体験農園

- 駐車場・給水施設・農具の貸し出しあり
- 他の利用者と共同で農作業を体験する「共同体験エリア(右写真)」と個人で区画を借りる「個人体験エリア」を選べる



小区画で気軽に楽しみたい人は

市民菜園

- 給水施設(手押しポンプなど)あり。駐車場・農具の貸し出しはなし
- 最大 5 区画まで借りられる
- 東・安佐南・安佐北・安芸・佐伯区内に計33カ所



2/15
±まで

来年度利用者募集

事前に見学も可能です(要予約)。市民農園では、新規入園者や複数区画利用者には、料金の割引

があります。詳しくは、同センターホームページかお問い合わせを(☎、☎左記)。左記締め切り後は、空きがあれば随時募集します。



	農園名	所在地	1区画の広さ	1区画の年額
市民農園	見張	安佐北区白木町井原・小越	50㎡	2万9000円
	三田	安佐北区白木町三田		3万9000円
	三国	安佐北区安佐町久地	25㎡	7,500円
市民体験農園	勝木(共同体験エリア)	安佐北区可部町勝木	—	2万2000円
	勝木(個人体験エリア)		10㎡	5,000円
市民菜園	詳しくは同センターホームページ(上記)で		10㎡	3,000円*

※別途水道料金が必要な菜園あり

インタビュー

初心者でも手軽に始められる

子育てがひと段落して自分の時間が増え、何か新しいことを始めたいと思い、一



きとうかくみ
鬼頭嚇巳さん(59)・
ともこ
智子さん(53)夫妻

昨年、夫婦で見張市民農園に入園しました。農業は未経験でしたが、講習会で教えてもらったり、道具の貸し出しがあったりするので、手軽に始められました。

最初は 1 区画でも広すぎると思っていたのですが、やり始めると夢中になり、今では50㎡が手狭に感じるほど野菜作りを楽しんでい

ます。

一番の魅力は土づくりです。耕運機を借りて硬い土を耕したり肥料を混ぜたりと手をかけることで、少しずつ柔らかくなり、1 カ月程度で頼ずりしたくなるほどのフカフカの土になりました。この土がおいしい野菜の決め手。頑張った成果を自分で味わえるのはうれしいですね。

郊外へ出かけるのも楽しみ

中区の自宅から農園まで少し距離があるのも魅力の一つ。もともとドライブが好きなので、農園へ行く前後に、周辺の道の駅を巡ったり、地域の特産品を食べに行ったりしています。週末の農園通いが今一番の楽しみです。